

ASEANからの「元留学生」らが富士通を訪問

日 程：2018年3月15日（木）

参加者：アジア・ジャパン・アラムナイ・インターナショナル役員 11名

コディネーター：有田 拓人 経済広報センター国際広報部主任研究員

ASEAN加盟国の若者を対象としたわが国の国費留学制度は、1954年に開始され、これまで500名超が同制度を利用し来日した。この留学経験者は、国ごとに留学生協会などを組織し、その幹部は、各国のさまざまな分野で主導的な役割を担っている。経済広報センターでは、日ASEANの相互理解促進の観点から、元留学生の10カ国代表の来日にあわせ、3月15日、企業訪問の機会を設定した。

今回来日したのは、マレーシアのウィ・チーキョン経営科学大学教授ら11名。一行は、ASEANからの留学生に対し日本国内で各種支援を実施するアジア・ジャパン・アラムナイ・インターナショナルの理事会に参加するとともに、ウィ氏がかつて勤務した富士通の川崎工場を訪問した。

同工場では、スーパーコンピューター「京」システムラック内部や、人工知能「FUJITSU Human Centric AI Zinrai」を活用し来館者と自然な対話を可能にするロボットなどを見学した。加えて、諸外国、特にASEAN10ヶ国における同社の採用の現状や、外国籍従業員に対する期待、外国籍従業員用イントラネットの活用等、多様な人材が活躍できる企業を目指した取り組みなどについて説明を受けた。

以 上

<来日者一覧>

ウィ・チーキョン	マレーシア経営科学大学教授
ダニロ・トゥアゾン	フィリピン・法医学者、脳科学者
ゴ・ミン・トゥイ	ベトナム・ハノイ大学副学長
サムラン・チュートアングン	タイ・国連開発計画メコン川委員会委員
ブティ・モニラ	ダイワ精機カンボジア社長
イー・ジェンエン	シンガポール・CXS Analytics 社パートナー兼 CTO
ヒデキ・アマング	インドネシア・P.T. Mamberamo Alas Mandiri 代表取締役
シー・シー・シエン	ミャンマー・ヤンゴン外国語大学学部長
レイミー・オスマン	ブルネイ元日本留学生会秘書（会長代理）
パンヤ・チャントボン	ラオス元日本留学生会会長
ブッサディー・ナワウィチット	タイ王国元日本留学生協会会長



テクノロジーホール見学風景



3D グラスで最新の心臓シミュレーターを見る一行

一般財団法人 経済広報センター 国際広報部

〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-3-2 経団連会館 19 階

電話：03-6741-0031

<http://www.kkc.or.jp/> ※本稿の無断転載を禁じます。